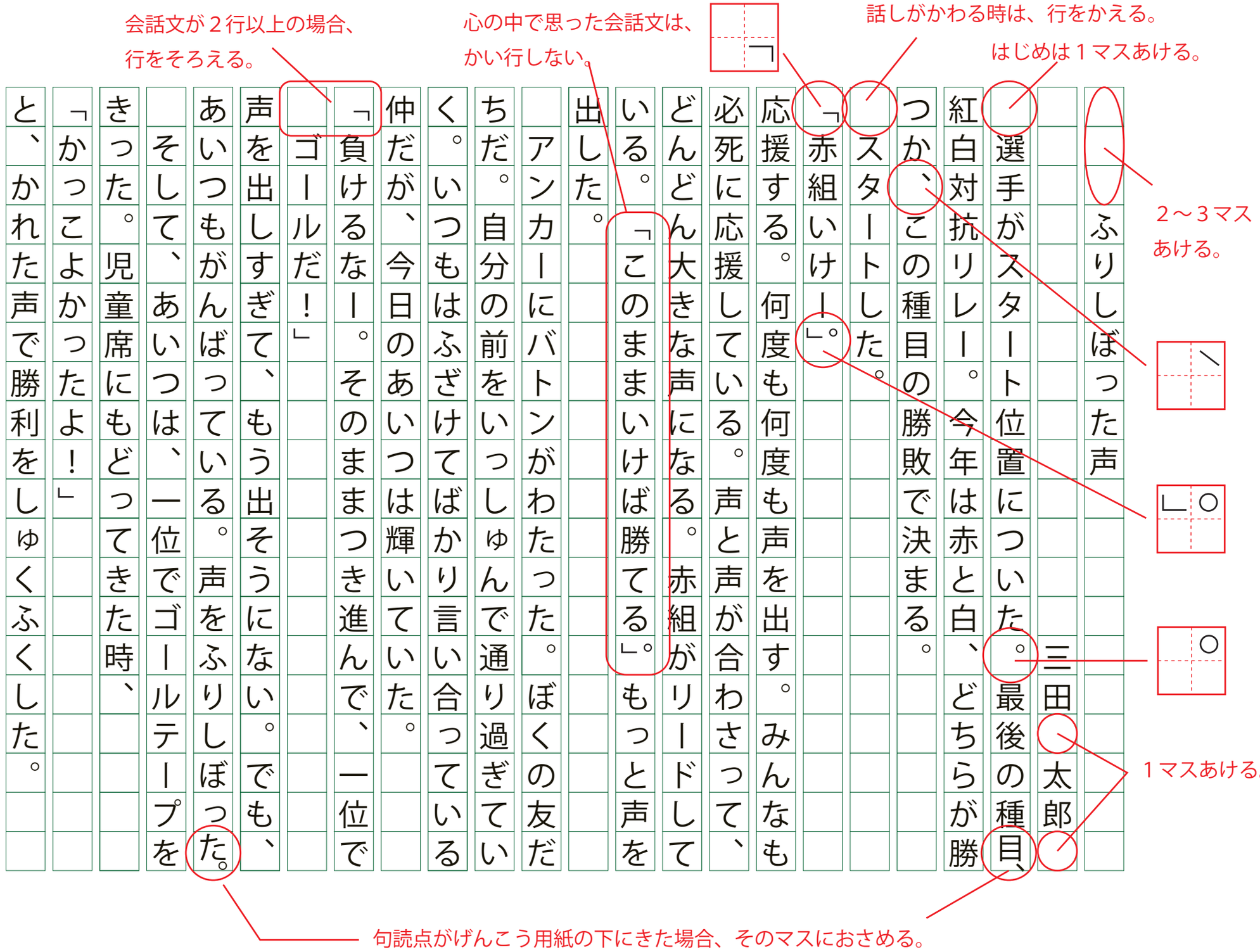

ふりしぼった声

三田太郎

選手がスタート位置についた。最後の種目、紅白対抗リレー。今年は赤と白、どちらが勝つか、この種目の勝敗で決まる。

スタートした。

「赤組いけー」。

応援する。何度も何度も声を出す。みんなも必死に応援している。声と声が合わさって、どんどん大きな声になる。赤組がリードしている。「このままいけば勝てる」。もっと声を出した。

アンカーにバトンがわたった。ぼくの友だちだ。自分の前をいっしゅんで通り過ぎていく。いつもはふざけてばかり言い合っている仲だが、今日のあいつは輝いていた。

「負けるなー。そのままつき進んで、一位でゴールだ！」

声を出しすぎて、もう出そうにない。でも、あいつもがんばっている。声をふりしぼった。

そして、あいつは、一位でゴールテープをきった。児童席にもどってきた時、

「かっこよかったよ！」

と、かれた声で勝利をしゅくふくした。